

会員の広場

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「モバイルインターネットの移り変わり」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■まさに共感できる内容であった。(高島洋典)

巻頭言「より多くの人と社会価値創造に取り組む」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■巻頭言と巻頭コラムの違いが分かりにくい。巻頭言は学会内の方、巻頭コラムは学会外の方だと思うが、学会内の方にも巻頭コラムのような社会に向けた広いメッセージを出してほしい。(嶋 廣二)

特別解説「ビッグデータの不正競争防止法による保護」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■タイムリーで分かりやすくとても参考になりました。(柏野和佳子)

特集「未来の学びを主導する高専教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■興味深く拝読しましたが、関係者からの成功例・宣伝したいことなどポジティブな内容がほとんどで、実際には存在するであろう教育・研究上の問題点などネガティブな内容や関係者以外の方からの評価などについても知りたかった。(匿名希望)

■情報の入りにくい他高専の技術教育カリキュラムを知ることができ、大変面白かった。大学などの教育機関の特集も読んでみたい。(角田洋太郎/ジュニア会員)

■同じ高専の学生として、他の高専がコンテストで強い理由を垣間見ることができた。(井上勢大/ジュニア会員)

■高専の特集とはなるほど!と思いました。高専の特集だったわけですが、今後の我が国の技術系人材の課題と展望についても、考えることができました。高専を卒業した方々の力が、存分に発揮される環境になってほしいと思います。(匿名希望)

■高専への国際的な評価の高さを知り、高専への見方が変わった。(松岡 航/ジュニア会員)

■情報分野にとって大きな人材育成ポテンシャルを持つ高専は大切な課題であり、時宜を得た特集だと考えたが、内容がや

や総括的であったり、通例的な紹介にとどまった印象で残念。大学進学率6割の時代に、高専が持つ固有の意味を明らかにし、同時に設立時期の社会的要請と将来のニーズとの隔絶などの諸課題を議論していただきたかった。(中島一郎)

■学会として人材育成に取り組むのは分かるが、会誌にはもっと技術的内容を期待したい。また、特集としてこれほどの紙面を割くのであれば、本会と深い関係があるのかと思いきや、「学会」という言葉すら出てこない。会誌として何を意図した特集だったのか理解できなかった。(伊藤雅樹)

■とても興味深く拝見しました。卒業生に優秀な人材が多いことにそういった理由があるのだなと感心させられるとともに、ぜひ高校入試を控えた中学生やその親御さんにも読んでいただきたいと思いました。(滝内邦弘)

■今回のテーマに興味はなかったのではじめ読む気が起こらなかったのですが、読み進めると革新的なカリキュラムや取り組みが紹介されており、興味深いとともに自身が中学生ならぜひ高専に行ってみたいと思いました。(上野崇宏/ジュニア会員)

解説「コミュニティ型のAI人材育成」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■一番面白く読みました。中で言及されているN高等学校の取り組みをくわしく取り上げていただきたいと思いました。(柏野和佳子)

報告「IPS」出前授業体験録については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■学会がこういう出前授業をしていることに感銘を受けた。担当者の見事なお話と、多くの中学生からの質問に答えておられる様子が非常に読んでいて楽しかった。きっと中学生たちも大きな刺激を受けたことでしょう。(匿名希望)

■中学生が驚きながら楽しく学んだことが伝わってきました。続報を期待します。(柏野和佳子)

連載「べた語義：中高生ポスターセッションの報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■取り組みは大変素晴らしいと思うが、その効果や意義についての議論に不十分さを感じた。意義に合わせた評価をし、会誌等で公開していくことが重要である。(匿名希望)

連載「5分で分かる!? 有名論文ナメ読み：Cyril W. Cleverdon, Jack Mills, E. Michael Keen : Factors Determining the Performance of Indexing Systems ; Volume 1 : Design」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■全文検索システムの評価のやり方についての歴史を知ることができ、有意義でした。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■会誌の目配りの広さには感心しています。(匿名希望)

■いまさらながら RPA を深掘していただけると嬉しく思います。(竹原豊和)

■研究開発のためのデータの収集・提供・利用について法的な視点からの解説が欲しい。(匿名希望)

■難しい内容は飛ばしていますが、毎号最後までページをめくろうにはしています。(匿名希望/ジュニア会員)

■麻雀 AI についての記事が読みたいと思う。(匿名希望/ジュニア会員)

■ICT 利活用教育と情報教育の違いについて取り上げてほしい。(匿名希望)

■スポーツと IT : 身体能力の向上、戦術の高度化と習得などについて取り上げてほしい。(匿名希望)

■国の指針として「AI」の「教育」が打ち出されるニュースが多数見られるが、関係が深いであろう本会としてどのように考えるか。そもそも AI の教育とは何なのか、国がどう考え専門家はどうか考えているか、もう少し切り込んでほしい。(匿名希望)

■サイバー攻撃が社会に深刻な影響を及ぼしている。オリンピックを控え、さらに攻撃は、激化する。学会も会誌や研究会等を通じて、サイバーセキュリティの脅威と社会に及ぼす影響、対策を社会に周知する役割を担っていると思う。(匿名希望)

■IT 利活用史といったテーマに興味があります。IT の要素技術の進歩の過程はある程度共通認識となっているかと思いますが、それがいかに社会に貢献したかは個別理解のレベルではないでしょうか。集中処理と分散処理が繰り返されてきた歴史やいま AI が第三世代であることの背景など、社会ニーズなどとの関連で整理してみるのも面白いかもしれません。(匿名希望)

■AI 教育、データサイエンス教育に関する動向に興味があります。広範な分野ではありますが、どのような体系で、特に非情報分野の学生をどう巻き込んでいくかなど、国内外での取り組みを知りたいと考えています。(匿名希望)

■5G の本格的な運用が開始されるにあたって、Vol.55 No.11 にあった「《特集》モバイル時代のサービスを支える技術」をフォローする最新情報を知りたいです。(匿名希望)

■イマーシブメディアや BCI について取り上げてほしい。(松岡 航/ジュニア会員)

■IT 企業の社長のコラムなどを読んでみたいです。(匿名希望)

■Raspberry Pi 4 について取り上げてほしいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■情報分野での起業について、技術的な背景を含め、ぜひ取り上げてほしい。(坂元 翔/ジュニア会員)

■毎回読んでいて非常に楽しいです。(武藤照麟/ジュニア会員)

【本欄担当 大見嘉弘, 上田 俊/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>> にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
 - ・記事テーマの提案
 - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
 - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「"Applications and the Internet" in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2019」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-V.html	10月25日(金)		
	2019年度フェロー候補者推薦募集 https://www.ipsj.or.jp/topics/fellow_boshu2019.html	11月5日(火)		
	デジタルプラクティス「ビッグデータ、IoT、AI：最新の事例と人材育成」特集論文募集 https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1103s.html	11月5日(火)		
	2019年度情報処理技術研究開発賞候補者推薦募集 https://www.ipsj.or.jp/topics/re-award_boshu2019.html	11月5日(火)		
	2019年度マイクロソフト情報学研究賞候補者推薦募集 https://www.ipsj.or.jp/topics/microsoft-award_boshu2019.html	11月5日(火)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-T.html	11月15日(金)		
	論文誌「実社会を支える暗号・セキュリティ・プライバシー技術」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-R.html	11月25日(月)		
9月17日(火)	第174回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all174.html	7月25日(木)	当日のみ	信州大学 長野(工学)キャンパス
9月19日(木)～	第106回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm106.html	7月17日(水)	当日のみ	新潟大学駅南キャンパス 「ときめいと」
9月20日(金)	第47回インターネットと運用技術・	7月19日(金)	当日のみ	広島大学
9月19日(木)～	第35回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot47spt35.html	7月19日(金)	当日のみ	東千田キャンパス
9月19日(木)～	第180回マルチメディア通信と分散処理・	8月9日(金)	当日のみ	石川県政記念 しいのき迎賓館
9月20日(金)	第85回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps180eip85.html	7月25日(木)	当日のみ	国立情報学研究所 12F会議室
9月20日(金)～	第171回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc171.html	7月5日(金)	当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
9月22日(日)	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム(ETC2019) https://ec2019.entcomp.org/call-for-papers/	7月26日(金)	当日のみ	新居浜工業高等専門学校 (愛媛県)
9月21日(土)	令和元年度電気関係学会四国支部連合大会 https://www.sjciee.org/	6月14日(金)		大阪大学中之島センター
9月23日(月)	2019年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaiikai_2019/	8月2日(金)	当日のみ	カナモトホール (札幌市民ホール)
9月25日(水)	第125回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps125.html	7月23日(火)	当日のみ	化学会館/大阪大学 中之島センター/東北大学 電気通信研究所
9月26日(木)	連続セミナー 2019第3回「AIと歩む未来(2): 画像・映像処理の最前線」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program03.html	7月9日(火)	定員になり次第	九州工業大学 戸畑キャンパス
9月27日(金)～	2019年度(第72回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月23日(火)	当日のみ	フューチャー株式会社 (東京都品川区)
9月28日(土)	第114回ドキュメントコミュニケーション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc114.html	8月21日(水)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
9月28日(土)	第175回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg175.html	8月30日(金)		北海道大学
10月5日(土)	情報処理北海道シンポジウム2019 https://hokkaido.ipsj.or.jp/info2019/	8月21日(水)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
10月5日(土)～	第151回コンピュータと教育研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce151.html	9月25日(水)	定員になり次第	産業技術総合研究所 海副都心センター 別館11F会議室
10月6日(日)	短期集中セミナー 2019「AI×IoTの社会実装と標準化における課題と 取り組み」 https://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2019/ITSCJ-AIxIoT/	8月23日(金)	当日のみ	キャンパスプラザ京都
10月11日(金)	第129回音声言語情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp129.html	8月1日(木)	9月28日(土)	ハウステンボス(長崎県 佐世保ハウステンボス町 1-1タワーシティ)
10月21日(月)～	10月24日(木)	コンピュータセキュリティシンポジウム2019(CSS2019) https://www.iwsec.org/css/2019/		
10月25日(金)	連続セミナー 2019第4回「AIと歩む未来(3): 社会に広がるAIの現状と課題」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program04.html	9月18日(水)	当日のみ	日本大学理工学部/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学電気通信研究所 奈良先端科学技術大学 院大学
10月25日(金)～	第242回自然言語処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl242.html	8月21日(水)	当日のみ	鳥取大学 鳥取キャンパス
10月26日(土)	令和元年度(第70回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai-chugoku.org/	8月30日(金)	当日のみ	国立情報学研究所 (学術総合センター)
10月30日(水)～	10月31日(木)	第126回プログラミング研究発表会 https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2019-3/		
11月1日(金)～	11月4日(月)	Asia Pacific Conference on Robot IoT System Development and Platform (APRIS) 2019 http://www.sigemb.jp/APRIS/2019/		Pattaya,Thailand

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月4日(月)～ 11月6日(水)	The 12th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2019) http://www.icmu.org/icmu2019/	5月24日(金)		Soaltee Hotel, Kathmandu, Nepal
11月7日(木)～ 11月8日(金)	第176回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学・ 第23回デジタルコンテンツクリエイション・ 第219回コンピュータビジョンとイメージメディア合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg176dcc23cvim219.html	9月20日(金)	当日のみ	九州工業大学 百周年中村記念館
11月8日(金)～ 11月10日(日)	ゲームプログラミングワークショップ2019 (GPW-19) https://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tsuruoka/sig-gi/gpw/2019/	7月22日(月)	当日可	箱根セミナーハウス
11月11日(月)～ 11月13日(水)	第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2019) https://www.dpsws.org/2019/	7月19日(金)		登別温泉 登別万世閣
11月13日(水)～ 11月15日(金)	第189回システムとLSIの設計技術・ 第52回組込みシステム合同研究発表会(デザインガイア2019) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm189emb52.html	8月30日(金)	当日のみ	愛媛県男女共同参画 センター
11月13日(水)～ 11月15日(金)	第230回システム・アーキテクチャ研究発表会(デザインガイア2019) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc230.html	8月30日(金)	当日のみ	愛媛県男女共同参画 センター
11月15日(金)	連続セミナー2019第5回「シミュレーションと人工知能」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program05.html		定員になり次第	化学会館/大阪大学 中之島センター/東北大学 電気通信研究所
12月5日(木)～ 12月6日(金)	第107回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm107.html		当日のみ	アイーナいわて県民情報 交流センター
12月9日(月)	連続セミナー2019第6回「IT分野の研究開発動向を俯瞰する」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program06.html		定員になり次第	国立研究開発法人科学 技術振興機構/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学電気通信研究所 大阪大学 吹田キャンパス
12月10日(火)～ 12月11日(水)	第31回コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2019) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?draft-ComSys2019			大阪大学 吹田キャンパス
12月10日(火)～ 12月11日(水)	第185回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第64回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci185ubi64.html	10月18日(金)	当日のみ	淡路夢舞台国際会議場
12月13日(金)	短期集中セミナー2019「JPEG/MPEG標準化の最新動向2019～ 2020年に向けた活動状況～」 http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2019/ITSCJ-JPEGMPEG/		定員になり次第	機械振興会館6階 66会議室
12月13日(金)～ 12月14日(土)	第11回アクセシビリティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac11.html	10月25日(金)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
12月14日(土)～ 12月15日(日)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2019」 http://jinmoncom.jp/sympo2019/index.html	8月26日(月)	当日可	立命館大学 大阪いばらきキャンパス
2020年				
1月15日(水)～ 1月17日(金)	International Conference on High Performance Computing in Asia Pacific Region (HPCAsia2020) http://sighpc.ipsj.or.jp/HPCAsia2020/			アクロス福岡
2月27日(木)～ 2月28日(金)	第108回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm108.html		当日のみ	沖縄セルラー電話 株式会社(予定)
3月5日(木)～ 3月7日(土)	情報処理学会 第82回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/			金沢工業大学 扇が丘キャンパス
3月9日(月)～ 3月11日(水)	インタラクション2020 https://www.interaction-ipsj.org/2020/	10月21日(月)	当日可	学術総合センター内 一橋講堂

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月15日 人材募集情報 (Vol.60 No.9)
- 8月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.60 No.9)
- 8月9日 CITP (個人認証) 2019 年度第 2 回の申請案内と様式を掲載しました (～ 10月11日まで)
- 8月7日 論文誌「情報システム論文」特集 論文募集
- 8月5日 デジタルプラクティス「ビッグデータ, IoT, AI: 最新の事例と人材育成」特集論文募集
- 8月1日 2019 年度マイクロソフト情報学研究賞候補者推薦募集
- 8月1日 2019 年度情報処理技術研究開発賞候補者推薦募集

人材募集 (有料会告)

申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)

賛助会員 (企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本誌 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内(土日祝日除く)に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■豊橋技術科学大学

募集人員 助教1名(任期5年(ただし, 審査による3年の任期延長あり))

所属 メディア・ロボット情報学分野

専門分野 メディアコンテンツ(画像, CG, デジタルヒューマンなど)の生成, 機械学習, 応用に関する研究分野

応募資格 博士の学位を有し(または, 着任までに取得見込みであり), 専門分野に業績があり大学院学生の研究指導補助ができ, 情報系の実験科目の担当が可能な方

着任時期 2020年4月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 1. 履歴書(学歴, 職歴, 受賞等, E-mail アドレス明記), 2. 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文(査読付き), 著書, 解説論文, 特許などに分けて記載), 3. 主要論文別刷(3編以内), 4. 学会・社会における活動状況, 5. 外部資金の獲得実績, 6. これまでの研究活動の概要(A4用紙で2枚程度), 7. 着任後の教育研究の抱負(A4用紙で2枚程度), 8. 所見を伺える方1名以上の連絡先

応募締切 2019年10月31日(必着)

送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学情報・知能工学系 三浦 純

封筒の表に「教員応募(情報・知能工学系:メディア・ロボット情報学分野助教)」と朱書きし, 簡易書留で郵送してください

*提出書類は原則として返却いたしません

照会先 情報・知能工学系 栗山 繁 E-mail: sk@tut.jp

Tel(0532)44-6737

その他 【選考方法】第1次選考(提出書類による選考), 第2次選考(プレゼンテーションを含む面接)

詳細は, 当大学法人の Web ページ(<https://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubu.html>) をご覧ください

■神奈川大学工学部電気電子情報工学科

募集人員 特別助手または特別助教(任期制) 1名

専門分野 知能情報学, 人工知能

着任時期 2020年4月1日

応募締切 2019年11月5日(必着)

照会先 工学部電気電子情報工学科主任 能登正人

E-mail: noto@kanagawa-u.ac.jp

その他 詳細は本学 Web ページ(<https://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>) に記載の公募要領をご覧ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 教授, 准教授または助教 3名

専門分野 人工知能, コンピュータ工学, 離散構造の分野から各1名

着任時期 2020年4月1日

応募締切 2019年11月29日(必着)

照会先 学科長 種田和正

E-mail: oida@fit.ac.jp Tel(092)606-3782

その他 詳細 (http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubu/kyoin_koubu/index)

情報処理学会創立 60 周年記念（第 82 回）全国大会 一般セッション・学生セッション 講演募集案内

【会期】2020年3月5日(木)～7日(土)

【会場】金沢工業大学 扇が丘キャンパス (石川県野々市市扇が丘7-1)

【Web サイト】<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/>

情報処理学会では、情報処理学会創立 60 周年記念（第 82 回）全国大会の一般セッション・学生セッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,200 件を超える発表申込をいただき活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮ってお申ください。

【募集分野】

以下の分野で募集を行う予定です。

詳しくは第 82 回全国大会 Web サイトをご覧ください。

1. コンピュータシステム
2. ソフトウェア科学・工学
3. データとウェブ
4. 人工知能と認知科学
5. ネットワーク
6. セキュリティ
7. インタフェース
8. コンピュータと人間社会

【講演募集内容と使用言語】

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
(情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士（博士前期課程）在学者

【講演時間（質疑応答含む）、論文頁数】

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20分	2頁
学生セッション	15分	2頁

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始：2019年10月8日(火)(予定)

講演申込・修正・取消締切日：2019年12月3日(火)

原稿投稿・差替え締切日：2020年1月10日(金)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、標記の情報処理学会創立 60 周年記念（第 82 回）全国大会 Web サイトからお願いいたします。

【講演申込にあたっての注意事項】

- * 講演申込は講演発表者ご本人様で行ってください。
- * 講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- * 講演の代理（代読）は原則として認めません。
- * 講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて [\[ipsj82@gakkai-web.net\]](mailto:ipsj82@gakkai-web.net) までお願い致します。
- * 講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代（希望者のみ）はお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。
- * 講演申込登録をされた情報のうち書誌情報（標題、講演者および共著者の名前・所属、論文要旨）、および原稿は、情報処理学会電子図書館（情報学広場）に掲載いたしますので予めご承知置き下さい。なお、掲載時期は大会初日から3カ月経過以降の予定です。

【講演機器】

講演機器は、プロジェクトになります。接続ケーブルは、D-sub15 ミニピンです。ノート PC は、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【講演参加費・講演論文集代（税込）】

申込種別	会員種別	費用（税込み）
一般セッション 学生セッション (1件の申込につき)	正会員	11,000円
	学生会員	6,000円
	一般非会員	26,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集（希望者のみ）	全会員種別	8,500円

- * ジュニア会員の講演参加費用は無料です。
- * 会員とは、講演者が本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。
- * 電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方は会員費用で申し込めます。
- * 講演参加費には、講演料、大会参加費、プログラム冊子、全論文の PDF アクセス権が含まれます。
- * 講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込フォームの講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- * 上記の講演参加費は、1 件の申込に対しての費用です。複数件講演申込する場合には講演参加費×申込件数分の講演参加費が必要となります。
- * 入会申請中の方は、講演申込締切日 12 月 3 日（火）までに入会申請を完了してください。会員サービス部門から「入会承認予定のお知らせ」（会員番号を記載）をメールでお送りします。期日までにお支払いいただけない場合は、入会申請中で講演申込をされても非会員の講演費を請求させて頂く場合がございますので、ご了承くださいようお願いいたします。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈しております。それぞれの賞の受賞対象は、当会の個人会員に限りますので、非会員の方は当会にご入会の上、講演申込みをしていただくことをお勧めいたします。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された当会の会員で、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名以内。
大会奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、学部生または学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者で、大会優秀賞の対象とならなかった論文の登壇発表者 10 名以内。
学生奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、学生セッションで発表された中から、優秀な発表をした方各 2 名以内。大会のローカルアワードとして授与（該当なしの場合もあり）。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演・イベント企画セッション等の詳細は、情報処理学会創立 60 周年記念（第 82 回）全国大会 Web サイトへ逐一掲載してまいりますのでご確認ください。

【問合せ先】

一般社団法人情報処理学会 事業部門
Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375
E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

情報処理学会デジタルプラクティス 特集号論文募集

「ビッグデータ, IoT, AI: 最新の事例と人材育成」

● ● ▶ [投稿締切] 2019年11月5日(火) 17:00 ◀ ● ●

情報処理学会では、2018年4月に、ビッグデータ解析の利活用促進と社会への還元を推進しそのビジネス基盤を確立する事を目的として、ビッグデータ研究グループを発足しました。本研究グループを中心として、情報処理学会主催ソフトウェアジャパン2019において、「ビッグデータ, IoT, AIでプロフェッショナルを生き残れ」というタイトルで、現在のビッグデータ, IoT, AIをめぐるビジネスの現状と今後の展望について討論が展開されました。

令和元年6月11日には、第5回統合イノベーション戦略推進会議において「AI戦略2019」が決定され、我が国の数理・データサイエンス・AIの教育改革とAIをめぐる社会実装として、健康・医療・介護、農業、国土強靱化、交通インフラ・物流、地方創生（スマートシティ）などの基盤作りに関する実行計画が取りまとめられました。ビッグデータ, IoT, AIをめぐる技術は、近年加速度的に発展し、様々な産業分野や社会インフラにおいて大きなインパクトを与えてきており、今後の発展や利活用の推進が期待されます。本特集号「ビッグデータ, IoT, AI: 最新の事例と人材育成」は、このような取り組みに関するビジネス、社会インフラや人材育成の取り組みの実践に基く知見を紹介する論文を募集します。意欲的な投稿をお待ちしております。

想定する分野は、以下のようなものが考えられますが、これらに限定されるわけではありません。

ヘルスケア（健康・医療（個別化医療、予測医療など）・創薬）、アグリカルチャー（スマート農業）、ファイナンシャル（経済、フィンテック）、ビジネス（経営・マーケティング）、マニファクチャリング（製造業、品質管理・品質工学）、言語学（翻訳）・心理学（行動生物学）、ケミカル・マテリアルサイエンス（化学および材料探索）、保険・年金（アーキテクチャー）、ガバメント（オープンガバメント・オープンデータ）、各種公共サービス）、気象・地震予知・天文学・天体物理学、環境保全・環境アセスメント、オペレーションズ・リサーチ、産業用ロボット・自動運転、スマートシティ、モバイル・センサー・IoT、ウェブ・ソーシャルネットワーク、レコメンデーション、ビジネスインテリジェンス・ビジネスアナリティクス、ビッグデータ解析ツール・データ分析言語、ビッグデータ解析に関する数学基盤（解析学など）・確率論・統計学、機械学習・深層学習・学習理論、人材育成、キャリアパス構築支援、ビッグデータ解析のセキュリティ、プライバシー保護、コンプライアンス



デジタルプラクティス
HTML サイト
<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html>

※投稿要領: Web サイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1103s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2020年7月号 (Vol.11 No.3)

※特集エディタ: 石井一夫 (久留米大学バイオ統計センター), 吉野松樹 (日立), 斎藤彰宏 (日本 IBM)

※特集号編集委員: 編集委員長: 細野 繁 (東京工科大学)

副編集委員長: 茂木 強 (科学技術振興機構), 藤瀬哲朗 (三菱総研)

編集委員: 荒木拓也 (日本電気), 田島 玲 (ヤフー), 西山博泰 (日立製作所), 粟津正輝 (富士通研究所),

飯村結香子 (NTT), 石黒剛大 (三菱電機), 今原修一郎 (東芝), 大嶋嘉人 (NTT), 鬼塚 真 (大阪大学),

上條浩一 (日本 IBM), 斎藤彰宏 (日本 IBM), 佐藤裕一 (富士通研究所), 澤谷由里子 (東京工科大学),

澤邊知子 (日本大学), 新田 清 (ヤフー), 濱崎雅弘 (産業技術総合研究所), 平井千秋 (日立製作所),

平林元明 (日立製作所), 吉野松樹 (日立), アドバイザ: 喜連川優 (国立情報学研究所・東京大学)

(論文募集公開時点 (2019年8月))



● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.60 No.9 (Sep. 2019)

【特集：デジタルトランスフォーメーションを加速するコンピュータセキュリティ技術】

- 特集「デジタルトランスフォーメーションを加速するコンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって 盛合志帆
- デジタルトランスフォーメーションに潜むチャンスとリスク 浦本直彦
- Efficiency Improvement in Group Signature Scheme with Probabilistic Revocation Nasima Begum 他
- 通信量を削減した浮動小数点演算のためのマルチパーティ計算 天田拓磨 他
- Chosen Message Attack on Multivariate Signature ELSA at Asiacrypt 2017* Yasufumi Hashimoto 他
- Detecting Dynamic IP Addresses and Cloud Blocks Using the Sequential Characteristics of PTR Records* Tomofumi Nakamori 他
- Detection Method of Homograph Internationalized Domain Names with OCR Yuta Sawabe 他
- 機械学習ベース NIDS 構築のための分散処理フレームワーク 多田竜之介 他
- Using Seq2Seq Model to Detect Infection Focusing on Behavioral Features of Processes Shun Tobiyama 他
- 標的端末上でのみ動作するマルウェアに対するセキュリティアプライアンスの有効性評価 田辺瑠偉 他
- ユーザのコンテンツ編集操作を考慮した暗号化型ランサムウェア検知の検討 本多俊貴 他
- Detecting Unseen Malicious VBA Macros with NLP Techniques Mamoru Mimura 他
- 代理人制度に向けたプロキシ再暗号化方式の要件定義とその方法 坂崎尚生
- 業務プロセスの伝票不整合リスクの改善手法 河本高文 他
- On Automation and Orchestration of an Initial Computer Security Incident Response by Introducing Centralized Incident Tracking System Motoyuki Ohmori
- 仮名の再同定率に基づく仮名更新頻度の定量的評価 福嶋雄也 他
- A Histogram and GLCM-based Approach for Image Copy-Move Forgery Detection Songpon Teerakanok 他
- 制御システム向け事業レベルでのリスク分析手法の提案 熊谷洋子 他
- 個人情報漏洩の損害額の新しい数理モデルの提案 山田道洋 他
- Integrative Acceleration of First-Order Boolean Masking for Embedded IoT Devices Yuichi Komano 他
- 複数の歩容特徴量の DTW 距離に基づくロバストな個人識別手法の提案 森 駿文 他
- MITB 攻撃においてコンテンツ改ざんを行う不正 JavaScript の解析手法 高田一樹 他
- Understanding the Origins of Weak Cryptographic Algorithms Used for Signing Android Apps Kanae Yoshida 他
- Chronological Analysis of Source Code Reuse Impact on Android Application Security* Hironori Imai 他

【特集：“Applications and the Internet” in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2018】

- Editor's Message to Special Issue of “Applications and the Internet” in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2018 Kenichi Yoshida
- Sensing and Changing Human Behavior for Workplace Wellness Yutaka Arakawa
- Towards Privacy-Preserving Authenticated Disease Risk Queries Nusrat Jahan Mozumder 他
- Revisiting the Robustness of Complex Networks against Random Node Removal Kazuyuki Yamashita 他
- Large-scale Certificate Management on Multi-tenant Web Servers Ryosuke Matsumoto 他

【一般論文】

- パスワード別送添付メールの問題点と受信側での対策について* 乃村能成
- 環境変化を伴う経路選択問題における強化学習 大滝啓介 他
- うつ病患者を介護する家族間の情報共有が家庭内コミュニケーションに及ぼす影響 山下直美 他



*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note

● 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Sep. 2019)

【論文誌 プログラミング Vol.12 No.4】

- Design and Implementation of Superinstructions for JavaScript Virtual Machine Generation System for Embedded Systems eJSTK Tomoya Nonaka 他



【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.9 No.3】

- BET Estimation on Power Saving by Intermittent Disabling Network Interface on Android Tsubasa Murakami 他
- 3自由度モーションベースの制御とカヌー競技への応用 松林勝志 他
- 業務システム情報とセンサ情報を用いた作業可視化システムの試作と評価 石田明久 他



「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。



お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
約17.5円!

基本価格 350,000 円
(税込 378,000 円)

対象：全会員 20,000 通 配布
(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
共催事業は
さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
(基本価格の 40% Off!) **210,000 円**
(税込 226,800 円)

情報処理学会主催・共催事業*
(基本価格の 80% Off!) **70,000 円**
(税込 75,600 円)

* 情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 変形判または A4 判二つ折り (その他についてはご相談ください)
用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

CONTENTS

Preface

- 942 **Appreciate the Taste of Our Defeat**
Kazuhiko HACHIYA (Tokyo Univ. of the Arts)

Special Article

- 944 **Crypto Assets Libra - Difference from Bitcoin, Facebook aims**
Masanori KUSUNOKI (Center for Global Communications, International University of Japan)

Special Features

Social Majority Studies

- 948 **0. Foreword**
Mayumi BONO (National Institute of Informatics / The Graduate Univ. for Advanced Studies)
- 950 **1. What is Social Majority Studies?**
Satsuki AYAYA (Research Center for Advanced Science and Technology, the Univ. of Tokyo)
- 955 **2. What is Tojisha-Kenkyu?**
Shin-ichiro KUMAGAYA (Research Center for Advanced Science and Technology, the Univ. of Tokyo)
- 959 **3. Communication Studies meets Social Majority Studies**
Mayumi BONO (National Institute of Informatics / The Graduate Univ. for Advanced Studies)
- 962 **4. 1. Becoming Emotional and Having Emotion : A Phenomenological Approach to Lived Experience of Emotions**
Tadato SAWADA (Institute of Inclusive Society and Culture, Faculty of Human Relations, Otsuma Women's Univ.)
- 963 **4. 2. What is the Mechanism of Vocalization and Speech ?**
Hiroshi FUJINO (Tokyo Gakugei Univ.)
- 963 **4. 3. "Middle-order" Auditory Processes**
Shigeto FURUKAWA (NTT Communication Science Labs.)
- 964 **4. 4. Third-party Issues on Conversations**
Mayumi BONO (National Institute of Informatics / The Graduate Univ. for Advanced Studies)
- 965 **4. 5. On Being Ordinary**
Shigeru URANO (Mie Prefectural College of Nursing)
- 965 **4. 6. Generality in Conversational Rules**
Kosuke ASADA (Hakuoh Univ.)
- 966 **4. 7. The Organization of Bullying at School : 'School Stress' for Everybody**
Chiki OGIUE (Critic)
- 967 **4. 8. Two Aspects of Social Majority Studies**
Shin-ichiro KUMAGAYA (Research Center for Advanced Science and Technology, the Univ. of Tokyo)

Special Features

Cultivating Cybersecurity Professionals

- 968 **0. Foreword**
Keita USHIDA (Kogakuin Univ.)
- 970 **1. The Present and the Future of Cultivation of Cybersecurity Professionals**
Masashi ETO (National Institute of Information and Communications Technology) and Masaki KAMIZONO (Deloitte Tohmatsu Cyber LLC)
- 976 **2. Human Resource Development Projects in Cybersecurity Field at NICT**
Shingo YASUDA (National Institute of Information and Communications Technology)

- 982 **3. Capacity Building Programs at the Industrial Cybersecurity Center of Excellence**
Youki KADOBAYASHI (Nara Institute of Science and Technology)
- 990 **4. Security Education at Kogakuin University**
Masaki FUJIKAWA, Ryotaro KOBAYASHI (Kogakuin Univ.) and Tadashi NAGAMIYA (Japan Information Security Audit Association)
- 996 **5. Security Human Resource Development by Practice**
Michio SONODA (National Institute of Information and Communications Technology)

Reports : The 2019 IPSJ/IEEE-CS Young Computer Researcher Award

- 1002 **Message from the Selection Committee**
Yasuo OKABE and Shin-ichi MINATO (Kyoto Univ.)
- 1003 **Chance to Start "Learning Analytics"**
Atsushi SHIMADA (Kyushu Univ.)
- 1004 **Research on Sensing and Understanding the Real World**
Takuya MAEKAWA (Osaka Univ.)

Reports : The 2019 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research

- 1005 **Message from the Selection Committee**
Yasuo OKABE (Kyoto Univ.)
- 1006 **Global Research Experience through Mining Software Repositories**
Yasutaka KAMEI (Kyushu Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 1007 **Keep the Novice Mind, Anytime**
Yuki AMANO (Hiroshima Univ.)
- 1008 **Programming in Collaborative Learning**
Sayaka TOHYAMA (Shizuoka Univ.)
- 1013 **What will We Do? Future General Informatics Education at Universities**
Lumi TATSUTA (Dokkyo Univ.)

How to Pass the Paper Review

- 1016 **A Protocol for Writing a Journal Paper**
Masaki SHIMAOKA (SECOM CO., LTD.)

Let's Learn Informatics

- 1022 **Programming Education in Junior High School - Network Programming and Measurement Control -**
Hirofumi NISHIGAYA (Yaizu City Kogawa Junior High School)

- 1029 **Shopping Boast**
- 1030 **IPSJ Activity Report**
- 1036 **Regular Column**
- 1038 **Biblio Talk**
- 1040 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 1043 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**
- 1044 **Questions for Experts**
- 1046 **IT Travelog Manga**
- 1048 **Conference Report**

ご意見をお寄せください！

【10月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2019年10月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：清々しいほどの敗北の中…………… 10-1- []
- 特別解説：暗号資産 Libra…………… 10-2- []
- 小特集：ソーシャル・マジョリティ研究
0. 編集にあたって…………… 10-3- []
1. ソーシャル・マジョリティ研究とは何か…………… 10-4- []
2. 当事者研究とは何か？…………… 10-5- []
3. コミュニケーション研究がソーシャル・マジョリティ研究に出会った…………… 10-6- []
4. リレーコラム：ソーシャル・マジョリティ研究事始め…………… 10-7- []
- 小特集：セキュリティ人材育成の現状と実践
0. 編集にあたって…………… 10-8- []
1. セキュリティ人材育成の現状と今後の展望…………… 10-9- []
2. 社会におけるセキュリティ人材育成事例（1）…………… 10-10- []
3. 社会におけるセキュリティ人材育成事例（2）…………… 10-11- []
4. 大学におけるセキュリティ人材育成事例…………… 10-12- []
5. 実践形式によるセキュリティ人材育成の取組み…………… 10-13- []
- 2019年 IPSJ/IEEE-CS Young Computer Researcher Award 紹介…………… 10-14- []
- 2019年 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research 紹介…………… 10-15- []
- ぺた語義：わからない人の気持ちを忘れない…………… 10-16- []
- ぺた語義：協調学習の中でのプログラミング…………… 10-17- []
- ぺた語義：どうする？ 大学等におけるこれからの一般情報教育…………… 10-18- []
- 論文必勝法：論文執筆の作法…………… 10-19- []
- 情報の授業をしよう！：中学校におけるプログラミング教育…………… 10-20- []
- 買い物自慢：DPT-RP1 はいいぞ…………… 10-21- []
- 学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応…………… 10-22- []
- リレーコラム：ダイバーシティの視点をもっと多様に…………… 10-23- []
- ピブリオ・トーク：人工知能システムのプロジェクトがわかる本…………… 10-24- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み：Anantha P. Chandrakasan et al. : Low-Power CMOS Digital Design…………… 10-25- []
- 連載：集まれ！ジュニア会員！！…………… 10-26- []
- 連載：先生、質問です！…………… 10-27- []
- IT 紀行：競プロ er 増加中！ AtCoder の高橋直大さんに会ってみた…………… 10-28- []
- 会議レポート：ICWE 2019 会議報告…………… 10-29- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
 〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
 〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 ソーシャル・マジョリティ研究：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 〔13-2〕 セキュリティ人材育成の現状と実践：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP委員会、情報処理教育委員会、アクレディテーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、ITフォーラム、ソフトウェアジャパン、その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

今号の小特集のタイトルは「ソーシャル・マジョリティ研究」である。この言葉、今回初めて目にしたという読者が多いのではないだろうか。かくいう私も、小特集が企画されて初めて知った言葉である。エディタの私がそんなことで良いのか?と思われる方もいらっしゃるだろうが、これには理由がある。本小特集は当初、ソーシャル・マジョリティ研究の創設者である綾屋さん、コミュニケーション研究の立場からソーシャル・マジョリティ研究に携わる坊農さんがエディタを務めることになっていた。ただし、ちょうど編集作業の真っ最中に坊農さんが出産を予定していた。そこで、急ごしらえではあるが、私がエディタのサポートに入ることになったのだった。そのような事情ではあったのだが、記事が続々と届きだしたころ

から、私はこの研究の目指すところ、奥の深さ、同時に幅の広さに魅了されていくことになる。コミュニケーションを研究対象としているからだろうか、そもそも、皆さん達筆である。文章に引き込まれる。そして何より、マイノリティの視点から、多数派のコミュニケーションに対する無自覚さを指摘し、暗黙知を言語化していく試みは、研究対象として、そして研究手法としても非常に魅力的である。情報処理研究者・技術者にとっても、大いに刺激になる内容に仕上がったと思う。「ソーシャル・マジョリティ研究事始め」として、本小特集が読者の皆さんの新たな研究のきっかけになってくれることを期待したい。

(加藤由花/本小特集エディタ)

セキュリティ人材育成の現状と取組みを見てきました。気づくことがいくつもあります。

人材不足が前提問題としてあって、しかし育成している人材と必要とされている人材にはずれがあること。この食い違いはどこから来るのでしょうか。

それから、人材を供給しようにも育成のキャパシティがまだ足りないこと。これはコミュニティによる「拡大再生産」で解消されることを期待します。はっとしたのは、サイバー空間に国境はないが、利用者は「ある場所」で活動していること。セキュリティ人材が少なく、育成が手薄な地域は、あまねく攻撃される中でウィークポイ

ントとなってしまいます。これには歯噛みしそうな感慨を覚えます。

本小特集が、読者のみなさまにとって、情報セキュリティを多面的に見つめる機会となればと思います。また、情報セキュリティに興味のある方、携わっている方にはより多くの気づきがあることと思います。これを業務などに活かしていただくことを期待しています。

本小特集は、最初の記事もご執筆いただいた情報通信研究機構ナショナルサイバートレーニングセンターの衛藤将史氏に記事構成の面からもお世話になりました。感謝申し上げます。

(牛田啓太/本小特集エディタ)

次号 (11月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」デジタルタイプ—文字情報処理基盤の今とこれから—

情報処理基盤としてのフォントの整備—源ノ角ゴシック・源ノ明朝の開発—/ Web フォント— Web の新しい文字表現と日本語環境での「戦い」—/ バリエーションフォント—表現を広げる未来のデジタルタイプ技術—/ UD フォント—デジタル時代と社会が生んだタイプフェイス—/ フォントエンジニアリング—フォント技術を支える仕事—/ オープンソースフォント—日本のオープンソースフォントを支えた M+ FONTS—

教育コーナー：ぺた語義

連載：IT 紀行 / 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み / 集まれ! ジュニア会員!! / 買い物自慢 / 古機巡礼 / 二進伝心 / 情報の授業をしよう! / 先生、質問です! / ビブリオ・トーク / 論文必勝法

コラム：巻頭コラム / リレーコラム

会議レポート：DICOM2019 会議報告 / CVPR 2019 参加報告

複写される方へ

一般社団法人情報処理学会では複写複製および転載複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaaccc.org/>) が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください。

高、本会会員（賛助会員含む）および著者が転載利用の申請をされる場合については、学術目的利用に限り、無償で転載利用いただくことが可能です。ただし、利用の際には予め申請いただくようお願い致します。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

Information Processing Society of Japan authorized Japan Academic Association for Copyright Clearance (JACC) to license our reproduction rights and reuse rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JACC (<http://www.jaaccc.org/en/>) and confirm appropriate organizations.

You may reuse a content for non-commercial use for free, however please contact us directly to obtain the permission for the reuse content in advance.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)	
差込 (A4変形判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 60巻10号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース 表2 日立製作所 表4
 講談社 表2対向
 電子情報通信学会 前付最終上 すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルート

Google

グーグル合同会社

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TIC
Telecommunication
Technology
Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

(株) NTT データ

GREE

グリー (株)

Rakuten
Institute of Technology

楽天技術研究所

IA japan

(一財) インターネット協会

ISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

Canon

キャノンマーケティングジャパン株式会社
キャノンマーケティングジャパン (株)

CMS CORE MICRO SYSTEMS INC.

コアマイクロシステムズ (株)

SANBI

三美印刷 (株)

SEPTENI

(株) セブテーニ

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

TECHNOPRO Design

(株) テクノプロ
テクノプロ・デザイン社

Panasonic

パナソニック (株)

MIZUHO みずほ情報総研

みずほ情報総研 (株)

人と音楽の新しい関係をデザインする。

レコチョク

(株) レコチョク